第89号／ふじのくに静岡県

消防学校ニュース

平成30年（2018年）9月 カレンダー

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木

平成30年9月21日発行

実科査閲　校外研修　修了式

初任科第89期 最終章

8月末から実科査閲に向けての訓練開始。強い精神力と団結力を学んだ「訓練礼式」34 名、消防資機材の取扱いを学んだ「機器取扱訓練」24 名、火災から市民を守るための「消防活動訓練（一斉放水を含む）」30 名、消火や救助の基礎技術を応用した「消防活動応用訓練」24 名、要救助者を安全確実に救助救命するための「救助訓練」25 名。第 89 期初任科生全員にそれぞれ査閲当日の役割が与えられました。

実科査閲は、初任科教育訓練の集大成として、これまでの訓練成果を学校長、各消防長、そして家族等に披露する晴れの舞台。ここ消防学校で養った気力・体力、修得した知識・技術を余すことなく全て出し切ろうと、初任科生たちの訓練にも力が入ります。

使用する資機材をもう一度チェック！

来校した家族等は北寮大教室で写真等の展示により初任科生の消防学校でのこれまでの様子を知る。

初任科第89期

実科査閲

いよいよ開式…

「学生入場!」

指令台の学校長に
「かしら一右」

先頭は、第89期 総代 富士 樋渡 学生
旗手は、1組 副総代 静岡 掛井 学生 以下 小隊43名、
続いて、2組 副総代 静岡 羽田野 学生 以下 小隊45名、
続いて、3組 副総代 磐田 馬塚 学生 以下 小隊44名、
以上、第89期学生133名の堂々たる入場行進だ。

国旗に対する敬礼

学校長挨拶

初任科第89期生133名が、約半年間に及ぶ厳しい教育訓練を経て、本日、実科査閲を迎えることができましたのも、ひとえに御来賓、御家族など多くの皆様の支えがあったからこそであり、学校長として心より感謝を申し上げます。
本日は初任科生一同、これまでの訓練成果を一生懸命に披露いたしますので、どうぞ最後まで温かく見守っていただければと存じます。

服装点検

来賓挨拶

静岡県危機管理部長
に代わり
白石 暢彦 静岡県
危機管理部長代理

村田 吉伸
静岡県消防長会会長
(静岡市消防局長)

さぁ訓練開始!　　頑張っていこう!

訓練礼式

4月、消防学校へ入校して
最初の訓練が「訓練礼式」。
教科書を開くと『和衷協同』の
文字。(見たことも聞いたこともない…)
“心を同じくして共に力を合わせる”
注目！初任科生たちの
和衷協同による訓練礼式!!

担当教官が見守ります

訓練内容はとても地味だが、資機材の諸元を知ることは災害現場で安全に活動する上でとても重要だ。

防火服、空気呼吸器、完全着装！

6か月間、
地道に努力した
成果を発揮せよ！

エンジンカッターでシャッターを切断し、開口部を設定して検索救助へ

機器取扱訓練

三連梯子を活用した応用はしご救助訓練

… 終わった …

来場者は約 400 人！

頭はクールに　ハートは熱く
Cool head but hot heart！

消防活動訓練

基本放水訓練・建物火災消火訓練

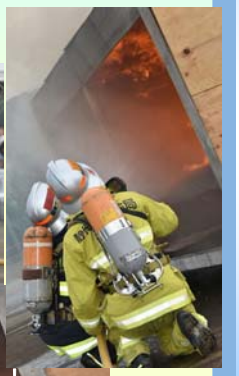
最も時間を費やして取り組んだ訓練。
その成果を御覧あれ！

自分たちの活動の先には助けを待っている人がいる

来る日も来る日もホースを延ばし、水を出す。
動きを体に叩き込む。
あらゆる現場で対応できるように…。

国民の期待と信頼に
応える消防官を
目指した半年間…。
その集大成として、
実践的な訓練を披露！

消防活動応用訓練



フラッシュオーバーボックス
・屋内進入救出注水実演！
火災の状況に合わせ活動を判断し、
冷却や消火など注水技術を使い分け！

自力脱出要領実演→

熱を避ける
ディフェンシブポジション

VEIS救助実演

「V」…換気「E」…進入「I」…区画「S」…検索

救助訓練

〈訓練種目〉
（渡過訓練）・セーラー　・モンキー　・ターン　・チロリアン　・復旧
登はん（腕力・応用）　座席懸垂降下　交通救助訓練

半年前は自分自身が救助されていた初任科生たちが…

査閲では誰よりも…

…たくましく、勇敢で、自信に満ちた姿を披露！

交通救助においても、
要救助者のために
迅速かつ的確な
活動を展開！

A訓練塔　8階から脱出

一斉放水

ゴールでなくスタート・・・

~Start instead of goal~

芦澤学生(富士)の指揮の下、
「心ひとつ」になり、一斉放水を披露。
若き消防士たちは、
目標に向かい、決して近道はせず、
全力で挑戦し続けてくれるだろう。
努力は必ず未来につながっている。
みんなのまっすぐな思いを一つに…

空高く飛べ、天まで届け、私たちの夢

学校長講評

本日の実科査閲では、落ち着いて、これまでの訓練成果を十分に発揮し、それぞれの役割をきちんと果たせたものと思います。4月に入校し、訓練を始めた当初はなかなか揃わずに苦労した「訓練礼式」を本日のスタートとし、息の合ったところを披露してくれました。最後の「一斉放水」では、本日の査閲を見事に締め括ってくれました。

初任科の総仕上げとも言える、この査閲という緊張の舞台において、大勢の御来賓や御家族の前で、日頃の成果を十分に発揮できたこと、そしてその頑張った姿をこれまで支えてきてくれた方々に御覧いただくことができたことは、掛け替えのない経験になるでしょう。

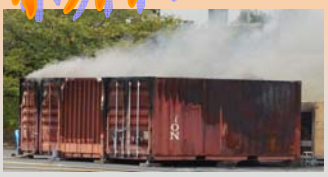
それぞれに感じること、それぞれの思いというのはあるでしょうが、校長の私としては、消防士として現場に赴く準備が整ったように考えます。

最終実科訓練

「実科査閲」の翌日9月7日（金）、その翌週 10 日（月）、11 日（火）と再び実科訓練に取り組みました。
査閲が終わったからといって、訓練に終わりはないのです。

中隊訓練（火災想定）

ホットトレーニング



三連はしご訓練

消防活動訓練の一環で「大清掃」に取り組む初任科生たち。
そこに「非常呼集」を告げる校内放送が流れます。

ラスト 非常呼集だァ!!

教官と一緒に…

最後まで初任科生には負けられないゾ…

Last Run

は初任科生たちの感想の抜粋です…

校外研修

【横浜市民防災センター】
実際に見てみたいと思っていたものを見ることができた。
自助・共助の大切さを改めて感じることができた。
一般市民に説明する際の細かな配慮を知ることができた。

【横浜市消防局】
日本でトップクラスのＳＲを見学でき、ＳＲの方々のスケールの大きな話を聞くことができた。
かなり刺激になった。自分もスペシャリストになりたいと強く感じた。

初任科第 89 期の校外研修は、「実科査閲」が終了（９月６日）し、いよいよ修了式が間近（９月 20 日）となった９月 12 日、13 日に一泊二日で実施しました。

この研修は、関係機関や施設等を視察することにより、消防職員としての消防・防災関係の知識向上を図る目的で実施しており、具体的な研修施設など研修行程は校外研修担当教官が企画・調整します。

何よりも大事なのは「単なる修学旅行にならないこと」であり、ただでさえ初任科生たちの緊張の糸が切れやすいタイミングでの研修となるため、同行する教官たちも覚悟して出掛けていくことになります。

９月 12 日（水）　6:50　消防学校出発

横浜市民防災センター （横浜市神奈川区）	都市災害対応、防災知識の普及啓発のための施設。ＮＢＣ災害等特殊災害に対応するため、横浜市消防局機動特殊災害対応隊を配置。
横浜市消防局 （横浜市保土ヶ谷区）	特殊な技術・能力を有する隊員や装備で編成されている本部直轄の特別高度救助隊（通称「ＳＲ」）の車両等の見学及び警防部司令課の業務見学。
横浜市消防訓練センター （横浜市戸塚区）	消防学校教育として、新採用職員教育、専科教育、救急教育、消防団教育を実施。新任基礎教育学生センター所長査閲の事前訓練見学及び施設見学。

17:15　宿泊先（横浜）到着

９月 13 日（木）　8:00　宿泊先出発

東京消防庁 装備部装備工場 （東京都渋谷区）	世界最大規模を誇る東京消防庁の消防車両の整備を一手に引き受ける工場。
東京消防庁 消防技術安全所 （東京都渋谷区）	災害現場における消防職員の安全確保と効果的な活動を行うための安全検証や技術改良等を行う機関。
東京消防庁 消防博物館 （東京都新宿区）	消防の歴史と活動に関する資料等が展示されており、現代までの消防の歩みなどが研修できる施設。

【横浜市消防訓練センター】
他の消防学校の初任科を見て刺激になった。気合が入った。勇気をもらえた。モチベーションが上がった。
自分たちが受けている教育訓練の素晴らしさを実感できた。

17:00　消防学校到着

初任科生たちに校外研修の「感想＆アンケート」を提出してもらい、その中で今回の校外研修で良かったと思う研修場所を二つ選んでもらいました。その結果は次のとおりです。

①	横浜市消防訓練センター	80
②	横浜市消防局	55
③	東京消防庁装備部装備工場	54
④	横浜市民防災センター	42
⑤	東京消防庁消防技術安全所	20
⑥	東京消防庁消防博物館	15
	合　　計	266

【東京消防庁装備工場】
日本で唯一の施設、見たことがない、東京消防庁にしかない資機材や車両を見学でき、貴重な機会となった。
「消防」は消防士だけで構成されているのではないことを学べた。

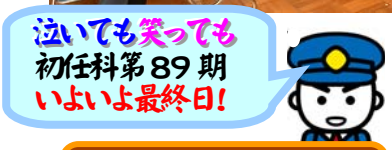
【東京消防庁消防技術安全所】
火災調査の授業でイメージしにくかった点がイメージできた。
マグネシウムと水の実験を見学でき、勉強になった。

【東京消防庁消防博物館】
消防に関する歴史を知ることができ、消防という職の素晴らしさを改めて感じた。
歴史を知り、先人たちの知恵と軌跡を見ることができた。

国旗に対する敬礼

国歌斉唱

黙　祷



修了生氏名発表

1組、2組、3組と、それぞれの担任教官が修了生一人ひとりの氏名を丁寧に発表していきます。名前を呼ばれた初任科生は緊張気味に「返事・起立・敬礼・着席」をします。　**合計133名！**

修了証書授与

澤野学校長から 修了生代表 富士市消防本部 樋渡 勝志（第 89 期総代)に修了証書が授与されました。

表　彰

静岡県消防学校教育訓練規程及び細則の規定に基づき、表彰が行われました。

まず、学業成績が最優秀の者1名に、**金嶋 千明 静岡県危機管理部長兼危機管理監代理**から、「静岡県危機管理監賞」の表彰状及び記念品が授与されました。

続いて、学業成績が最優秀に次ぐ者1名に、**村田 吉伸 静岡県消防長会会長(静岡市消防局長)**から、「静岡県消防長会会長賞」が贈られました。

静岡県危機管理監賞

羽田野 龍一（静岡市消防局）

静岡県消防長会会長賞

鈴木 巧（静岡市消防局）

静岡県消防学校長賞

学業成績が優秀な者3名に、
澤野学校長から
「静岡県消防学校長賞」
の表彰状及び記念品が
授与されました。

河田 寿輝（浜松市消防局）

石田 将太（浜松市消防局）

鳥居 亮平（富士山南東消防本部）

精　励　賞

学業成績が優良な者6名に、
澤野学校長から
「精励賞」が贈られました。

川本 拓弥（静岡市消防局）

鈴木 栄祐（掛川市消防本部）

山下 廉（袋井市消防本部）

樋渡 勝志（富士市消防本部）

豊田 なおみ（浜松市消防局）

掛井 亮一郎（浜松市消防局）

努　力　賞

特に自己研鑽に努めたと
認められる者6名に、
澤野学校長から
「努力賞」が贈られました。

伊原 隆介（駿東伊豆消防本部）

渡辺 大洋（御殿場市消防本部）

山田 幹太（湖西市消防本部）

勝又 潤弥（御殿場市消防本部）

澤田 芳岐（駿東伊豆消防本部）

小島 逸平（富士山南東消防本部）

功　労　賞

役員等で特に功労が認められる者4名（総代・副総代）に、澤野学校長から「功労賞」が贈られました。

樋渡 勝志（富士市消防本部）

掛井 亮一郎（浜松市消防局）

羽田野 龍一（静岡市消防局）

馬塚 貴之（磐田市消防本部）

学校長式辞

消防人生を歩んでいく中では、数多くの困難に直面することになるでしょう。

そんな時こそ、初心に帰り、初任科第89期のスローガンである「心ひとつ」を思い出してください。困難に直面したとき、下を向いてばかりでは何事も前には進みません。「心ひとつ」で皆さんの未来を明るく変えていってください。

自信と誇り、厳しさと優しさを兼ね備え、地域の皆さんに信頼され、愛される消防士にぜひ成長していってほしいと思います。

澤野 岳志　静岡県消防学校長

静岡県危機管理部長祝辞

金嶋 千明
静岡県危機管理部長兼危機管理監代理

静岡県消防長会会長祝辞

村田 吉伸
静岡県消防長会会長(静岡市消防局長)

進行　【第 89 期副担当】
佐野 将則（富士宮市）

修了生代表答辞

修了生を代表して、富士市消防本部 樋渡 勝志（第89期総代）が答辞を読み上げ、澤野学校長に手渡しました。

（※） 第2回野外訓練で、約43キロの行程を完歩したとき、達成感に浸ってばかりの初任科生たちは担当教官から「ここからが本番だということを忘れるな」と厳しい指摘を受けた。初任科生たちは、到着してから消防活動を行うということが本当の目的であることを意識しなければならなかった。

「答辞」より一部抜粋

この時期の私達に止まっている時間はありませんでした。

目まぐるしく過ぎる日々の中、9月上旬に控えた実科査閲が待っていたのでした。私達は第2回野外訓練で味わった自分達の詰めの甘さ（※）を挽回するかの如く実科査閲の訓練にのめり込みました。

迎えた当日、前日までの悪天候が嘘のように晴れ、私達は消防長、家族、友人に今までの訓練の集大成を披露し、半年間の成果、そして今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを体現し、伝えることができたと思いました。

この消防学校で過ごした半年間、様々なことがあり、今までに生きてきたことのない環境で過ごした内容はどれもこれからの消防人生の自信に繋がるものだと思います。初めての非常呼集でチーフ教官から言われた「自分の姿を鏡で見てみろ」というセリフ。私の中でずっと心に残っています。今日修了式を迎えるに当たって鏡で自分の姿を見るとき、あの時の自分が映っているとは思いません。それはこの半年間、今までに経験したことのない辛いこと、苦しいことを仲間とともに乗り越え、今日ここに修了式を迎えられている事実こそがそれを証明しています。

今日ここに私達が立っていられるのは、学校長をはじめ教官、職員の方々のお陰であるとともに、家族、友人、関係者の方々の支えがあり、成長することができたからです。特に教官方には、消防士の前に、社会人として、人としてのあり方を叩き込んでいただきました。恥ずかしいほど失態だらけの私達を最後の最後まで見捨てることなく、真正面から私達と向き合っていただき、どれだけ骨を折ってもらったのかと思います。教官方の私達に対する愛を決して忘れず、必ずや立派な消防官になり、県民市民のために働くことで恩返しをしたいと思っております。

クラス担任から一人ひとりに修了証書

修了式が終わった同じ大教室で、クラス毎に担任の教官から
一人ひとりに修了証書が手渡されました。
笑顔一杯、教官との握手付きの「修了証書授与」です。

教官からのメッセージ

【第 89 期担当】 【1組担任】 【1組副担任】 【2組担任】 【2組副担任】 【3組担任】 【3組副担任】 【救急・体育担当】

いよいよお別れ…いや、「たびだち」です

こういうことがあったんだ…

4月 … 19 日 初めての非常呼集
27 日 役員選挙（総代、副総代が決定）

5月 … 10 日 第1回野外訓練（浜石岳 全行程約 26km）

6月 … 13 日 校長点検（やっと週1回の外出許可）
14 日 危険物取扱者試験受験（合格率 90%）

7月 … 10～12 日 スキンダイビング講習
30 日～8月3日 実務研修
（各所属にて実施：当直勤務を体験）

8月 … 16～17 日 第2回野外訓練
夜間強歩訓練（沼津千本浜から学校まで約 43km）

消防学校第89期のあゆみ

大きな荷物を抱えて
それぞれの所属の車両を探す

迎えに来てくれた
各消防本部の車両が並ぶ

南寮と北寮を結ぶ通路の屋根裏、通り掛かる初任科生が時折見上げる。何だろうと覗き込むと鳩が巣を作ってあった。そこには可愛いひな鳥。しばらく経って様子を見に行くと、そのひな鳥たちは親鳥と見分けがつかないくらいに頼もしい姿となっていた。修了式の前日にもう一度確認、巣はもぬけの殻だ。どうやら初任科第 89 期生よりひと足先に巣立っていったらしい。

お迎えなしの修了生は自力で所属へと向かう

本日の修了式は新たな出発点。
消防学校の校門を後にすれば、
消防人としての本当のスタートライン
に立つわけだ。
今後も健全な心と身体を
保ちながら、しっかりと歩み、
消防の現場で
大いに活躍してくれることを
心から期待している。

みんなあ頑張れェ!!

編集・発行/ 静岡県消防学校　〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1
☎ 054-369-1190　FAX; 054-369-1197　E-mail;fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内･紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞ御覧ください。

静岡県消防学校　検索